

# 巨摩高だより

message from KOMA

vol.16  
2007/6/30

山梨県の高校は今、大きく変わろうとしている。学区が撤廃され、総合選抜制がなくなり、前後期制の入試が導入された。本年度の入学生は、自らが希望して入学した第1期生である。各校は、特色ある学校作りを取り組み、生徒も主体的に参画し、魅力ある学校を作り上げていかなければならない。巨摩高も4月に新入生240名を迎え、新たな一歩を踏み出した。



# 変わる巨摩高

# 変えていく私たち



巨摩高の特色を一言で言うと、「活気」が一番ふさわしいと思います。部活動はもちろん、勉強にも手を抜いていません。部活動ではどの部も一生懸命に練習し、すばらしい成果を収めています。その中でも特に陸上、弓道、バレー、バスケット、ホッケーの成績は素晴らしいです。一方、勉強の方も土曜講座や夏季宿泊学習会などたくさんのお勉強機会があります。また理数コースや普通科内の習熟コースでは毎日、発展的な授業が展開されています。これらのコースは大学への進学を目的として設置されています。巨摩高校では年々、国公立、私立大学の進学率が上がっています。勉強も活発なのです。今年度から全県一学区に変わり、受験する高校を自分で選択することができるようになりました。私も文武両道のできる巨摩高校を選択して受験しました。「活気」のある巨摩高校であんなに高校生活を過ごしませんか。山浦社史 一年 白根御勅使中出身

## メッセージ

皆さんにとって高校三年間は、人生の中で大きな価値を持つでしょう。なぜならそれは、かけがえのない、貴重な時間の連続だからです。新しい学習への興味や関心。人との出会い。そして、部活動や様々な体験。

皆さんがこの三年間をどんなふうに過ごすか、どう充実したものにするか、ということはとても大事です。私たちは皆さんの期待と不安をしつかり受け止め、夢の実現を一生懸命サポートします。巨摩高校で学んでみませんか。

## 巨摩高校に入学して



校長 岩間 敏雄

## 平成19年度入試結果 国公立大学27名 私立大学 159名合格

☆主な合格校	
【国公立大学】	山梨大学 (8) 山梨県立大学 (4) 都留文科大学 筑波大学 群馬大学 東京農工大学 新潟大学 信州大学 (3) 静岡大学 (3) 前橋工科大学 埼玉県立大学 石川県立大学 静岡県立大学
【私立大学】	山梨英和大学 (4) 山梨学院大学 (30) 健康科学大学 (8) 早稲田大学 (2) 明治大学 中央大学 (3) 法政大学 (2) 東洋大学 (4) 東海大学 (3) 順天堂大学 獨協大学 (3) 駒澤大学 (2) 芝浦工業大学 専修大学 (3) 大東文化大学 (5) 日本大学 (7) 神奈川大学 (9) 他
【短期大学】	大月短期大学 (3) 静岡県立大学短大部 山梨学院短期大学 (11) 帝京学園短期大学 他

今年度の入試は好調であった。国公立大学合格者数は前年比1.7倍と飛躍的に増加した。また、無業者（いわゆるニートやフリーター）が非常に少なかった。巨摩高の進路の現状と展望について進路指導主事の内藤佳行先生にインタビューした。

Q 今年度の進路状況を聞かせてください。

A 四年制大学への進学率が急激に上昇して、大学・短大合わせて66%になりました。逆に専門学校への進学率は前年度比10%減です。就職に関しては、この5、6年間大きな変動はなく5%ほどです。巨摩高の大きな特徴は、最近問題になっているニートやフリーターといった無業者層が非常に少なくなっていることで、就職内定率は100%です。国公立大学の合格者は27名と、過去5年間で一番多く、特に後期入試でのがんばりが大きかったといえるでしょう。



# 君

Q 入試に向けて小論文などの指導はどのようにしていますか？

A 2年時から小論文模試などは行っていますが、特に夏休み前には小論文指導の登録をさせて、校種別に教員全員で指導に当たっています。中には1人で200回以上指導した教員もいました。生徒1人の回数で言うと20回以上も添削を受けたことになります。総合的な学習の時間にも小論文に関する指導があります。また面接指導も全校体制で行っています。模擬面接を20回以上行った教師もいますが、実際には生徒が個人的にお願いして指導してもらうこともあり、進路指導部で把握していない指導はもっとあると思います。

# の

## ◎平成18年度（平成19年3月卒業生）進路合格状況

	国立大学	公立大学	私立大学	公立短大	私立短大	管外大学校	専門学校	就職
指定推薦			29	3	3	0	4	
公募推薦	7	3	30	0	11	1	25	7
一般入試等	12	5	100	1	8	0	33	8
計	19	8	159	4	22	1	62	15

# 夢

# を

Q 巨摩高生、巨摩高に進学を希望する生徒に期待することは？

A 大学は全入時代を迎えつつあります。ですから、ただ大学にはいることではなく、自分の将来を見据えて進路を考えてほしいと思います。特に総合的な学習の時間やキャリア教育を大切にして、情報を活用してほしいですね。

Q どうもありがとうございました。

## 編集後記

♪「巨摩高だより」第16号をお届けします。このたよりは図書・教養係を中心に巨摩高教職員のスタッフで作成しました。洗練されていない紙面かもしれませんが、手作りの味を感じただけなら幸いです。♪巨摩高の身近な一面が皆様に伝わればと思って編集しました。総体・定期テスト・学園祭と忙しい中、取材に協力してくださった方々には感謝申し上げます。♪本号の題字は書道の中村陽子先生に揮毫していただきました。第一面の校舎のイラストは2年2組の荻野日加里さんの作品です。重ねて感謝。♪次号は11月発行の予定です。締め切りのプレッシャーから解放されたたん、思いは次号の紙面構成へ。(2007/6/27)

# 叶

# え

# よ

# う

## がんばる先生

## 第4回



小林直樹先生は巨摩高のOBです。現在二年主任を務める傍ら、陸上部の顧問をしています。巨摩高陸上部は楯形総合公園陸上競技場で練習をしていて、近隣の中学校とも合同練習をしています。本人は「決して中学生を指導しているわけではないです。」

わけではありません。中学校の指導者も含めて、みんなで切磋琢磨しているだけです。」と謙遜していますが、陸上競技を通して地域の大きな交流の輪ができています。先生は高校時代、走り幅跳びで関東大会二位、インターハイ出場、県高校記録樹立と輝かしい成績を取っています。当時の様子をうかがうと、「思い出というところ、一年生の時、他にいられた種目がなくて出た棒高跳びで優勝してしまっただけのこと、二年の時の関東大会で、集団食中毒に遭ったこと、冬場の練習で友達に投げたハンマーがお尻を直撃したこと、二年時の屈辱をバネに三年時に関東で準優勝したこと、かな。」と楽しそうに語ってくれました。

小林直樹先生 二年主任 陸上部顧問





# 今、輝く風が



ホッケー女子  
関東を制す



第59回県高校総体は5月9日～11日の三日間小瀬総合運動公園を主会場に行われた。本校は弓道、陸上競技などの活躍で女子が総合4位に入賞した。

9日、大会初日、白根高校第2グラウンドで行われたホッケー女子は白根に14-0と圧勝。バドミントン男子は初戦駿台に3-1で勝つも2回戦湯田に1-3で敗れた。テニス男女、ソフトテニス女子は1回戦で白根、城西、山梨にいずれも1-2で惜敗した。卓球も初戦は北杜、ろうに快勝したが、2回戦で4強の甲府商、城西に敗れた。

二日目は、弓道女子が決勝で20射18中と驚異的中率で白根を退け、2年連続となる優勝を達成し、個人でも相原美由美が競射の末優勝した。男子も準々決勝で日川に14-16と敗れたがベスト8と健闘。バレーボール女子は決勝リーグで1勝2敗と頑張ったが、得点率で4位となった。バスケットボールは男子が北稜、甲府一、女子が甲府南、桂を破りベスト8に入った。陸上は男子が棒高跳び1-3位を独占するなど17名の入賞者を出し3位。女子は12名の入賞で4位に輝いた。

三日目、登山は得点こそなかったが7位で関東大会出場を決定。バドミントン女子は3位決定戦で日川に2-3で惜敗、4位に終わった。

弓道女子 総体2連覇 インターハイ出場も



過去五年間の男女総合成績

年度	男子		女子	
	得点	順位	得点	順位
2003	12	⑭	17	⑤
2004	19	⑩	10	⑭
2005	19	⑧	15	⑦
2006	18	⑨	28	④
2007	9	⑲	19	④

※白抜きは入賞



## 高校総体女子4位

男子は19位



平成19年度県高校総合体育大会成績		
女子		
部名	成績	得点
バスケットボール	ベスト8	2
バレーボール	4位	3
ホッケー	優勝	2
バドミントン	4位	2
陸上競技	4位	3
弓道	優勝	7
総合得点		19
総合順位		④
男子		
バスケットボール	ベスト8	2
剣道	ベスト8	1
陸上競技	3位	5
弓道	5位	1
総合得点		9
総合順位		⑲

大会に先立って行われたサッカーでは、初戦大月に6-0と圧勝したが、2回戦で準優勝の甲府東に0-2で敗れた。

総合得点は、女子が19点で2年連続4位入賞。過去5年間で入賞3回と、公立普通高のトップを維持している。男子は9点19位と振るわなかったが、過去5年で10位以内に2回食い込んでいる。巻き返しを期待したい。

また、6月1～18日に各地で行われた関東大会には弓道男女、バレーボール、ホッケー、バドミントン、陸上競技が会場（登山は10月実施）、結果は次の通り。  
【バドミントン】女子1回戦 巨摩0-2細田学園(埼玉)  
【バレーボール】女子1回戦 巨摩0-2市立前橋(群馬)  
【弓道】男子予選 ⑯ 巨摩(15中) 落選  
女子予選 ⑦ 巨摩(16中) 決勝へ

決勝トーナメント1回戦 巨摩6-7甲府南(山梨)  
【ホッケー】女子1回戦 巨摩11-0東海(茨城)  
準決勝 巨摩5-0成東(千葉)  
決勝悪天候中止により優勝。インターハイへ。

【陸上競技】男子 400m 依田幸裕 飯野永吉 1500m 榎屋啓太 400mリレー 400m障害 依田幸裕 800m 仲亀直希 3000m障害 秋山太希 榎屋啓太 1600mリレー 以上予選不通過  
棒高跳び ⑬原光平 ⑯長野浩平 青木峻(記録なし) 走り高跳び ⑮斉藤伸 やり投げ ⑳平川雅美  
女子 400m 甘利望 1500m 相川莉乃 400mリレー 100m 甘利望 内田麗美 200m 内田麗美 1600mリレー 以上予選不通過  
走り幅跳び 21川口悠 円盤投げ 23小林めぐみ 砲丸投げ 22小林めぐみ



# 巨摩野を駆ける

バレーボール部  
関東の晴れ舞台に



巨摩高では地域に開かれた学校、地域と密着し、連携する学校を目指しています。  
五月二十三日、定期試験の最終日には二つの行事が開かれました。一年生が参加した校外清掃活動は、普段通学路として利用している学校周辺の美化を目指すもので、毎年この時期に行われています。特に滝沢川の小笠原橋一帯では、安全に留意しながらですが、強い日差しの中、胸まではいるゴム長靴を履いた男子生徒が草陰やよどみに捨てられたカンやビニール袋などを回収しました。  
同日、小笠原自動車教習所で、同所の協力を得てバイクの安全運転講習会が二、三年生の原付免許取得者を対象に行われました。この講習



## 地域に開かれた学校を

六月十九日、進修文化創造館で、巨摩高校開放文化講座「楯形山の自然と保護」の第一回が開講されました。山梨日々新聞でも紹介されましたが、伝統ある自然科学部の成果も踏まえ、自然科学部の顧問である時田恵教諭が講座を担当しました。  
学校と地域が協力して、環境、交通問題など身近な事に取り組んでいく。その一つ一つの積み重ねが地域と密着した活力ある学校を育てていくのだと思います。今後も継続的な活動が期待されます。



の特徴は、実際の教習所のコースを使って走行できることです。巨摩高のために教習所も快くコースを提供してくださり、実りある講習会となりました。



## 文化部も負けないぞ

部長の秋山さんにインタビューしました。  
部長の秋山さんにインタビューを始めたきっかけは？  
答 理由はいろいろあるけれど、まあ、他の人と違うことをやりたかったからです。  
答 琴の魅力は何ですか？  
答 ピアノなどとは違って自分で調整するのが難しいですが、自分の音を作ることができると、いろいろな曲を編曲して、自由に演奏できるところが魅力です。  
問 目標は？  
答 やっぱ芸術文化祭賞をとって全国総文祭に出たいです。総文祭は来年八月なので、私たちが三年生は出られませんけど(笑)

六月のある放課後、白嶺寮の二階の和室を調べる。あてやかな琴の調べが響いていた。白嶺寮に向けて練習する部員の真剣な表情が並ぶ。現在部員は三年生四名、二年生三名、一年生一〇名の一七人。  
弾いているのはなんとジャズのスタンダード「シンク・シンク・シンク」(三年)部長の秋山さん(三年)がアレンジした曲だ。今、巨摩高管楽部では、古典の名曲だけではなく、様々な外国曲、現代楽曲にも挑戦している。白嶺寮では吹奏楽部、音楽部とのコラボレーションでは三味線も加えた「鳥唄」を披露する予定だ。  
目標は県の芸術文化祭。過去、優秀賞を受賞したことはあるが最高峰の芸術文化祭賞にはたどり着いていない。県の一位、そして全国総合文化祭出場を目指し、顧問の酒井美里先生、

## 芸文祭目指して

箏曲部



講師の中込千鶴先生の指導の下、連日稽古に励む部員たちである。